



Strategy Advisors

A-2 受講生アンケート結果一覧

全9セッションの評価・フィードバックまとめ

開催期間 2025年12月～2026年7月 | 全9回 | 平均評点 4.78 / 5.000

A-2. 次世代経営リーダー育成プログラム一覧

(経営戦略コース)

全9セッション | 平均評点 **4.78 / 5.00**

回	開催日	講師名・肩書	講義テーマ
1	2025年12月8日	東 哲郎 Rapidus(株) 取締役会長（東京エレクトロン 元代表取締役社長）	遅れ日本！半導体産業復活への道
2	2025年12月19日	竹中 平蔵 慶應義塾大学名誉教授、当社会長	世界で成長するDX企業のイノベーション
3	2026年1月29日	峰岸 真澄 (株)リクルートホールディングス 代表取締役会長 兼 取締役会議長	リクルートの経営
4	2026年2月4日	森田 隆之 日本電気(株)(NEC) 取締役 代表執行役社長 兼 CEO	DX戦略による企業価値創造戦略
5	2026年3月10日	佐々木 裕 (株)NTTデータグループ 代表取締役社長	生成AIで変わる世界の企業経営
6	2026年4月14日	酒井田 浩之 当社副社長執行役員	グループ発表（イノベーションを創造する組織とは）
7	2026年5月29日	徳成 旨亮 ニコン代表取締役会長	CEOの観点からの「CFO思考」
8	2026年6月8日	竹中 平蔵 慶應義塾大学名誉教授、当社会長	世界で成功する経営者のリーダーシップ
9	2026年7月1日	五郎丸 歩 元ラグビー日本代表	世界でプレーして経験したリーダーシップの重要性

第1回 講義フィードバック詳細

テーマ：甦れ日本！半導体産業復活に向けて

SESSION 01

4.59

/ 5.0 全体平均満足度

開催日

2025年12月8日

講師

東 哲郎 氏

Rapidus(株) 取締役会長
東京エレクトロン 元代表取締役社長

産業の根幹を成しながらも細かい技術の集結である半導体に長らく携わる中で、経営としては日本経済の大局を常に考えられてる姿勢に驚きを覚えた。とくにマーケットが大きい産業に携わる者として、自社だけでなく、国の政策や海外の動向等を踏まえたマクロな視点を今後持っていきたいと感じた。

後の世代にいい社会を残していくという使命感のお話に勇気をいただきました。特に技術の変化の激しい半導体産業において、どれくらい先のことを予想、想像されているのかお伺いしたかったです。

東会長のコメントの中で特に顧客満足と利益は相反しない、むしろ顧客志向を徹底することで利益がついてくるという点は多くの日本企業に欠けている点であると感じた。またかつては隆盛を誇った日の丸半導体がなぜここまで凋落したのか、失敗からの学びの点で、自分達の成功モデルを否定できなかった、しがらみを捨てる勇気が大切との言葉が印象的でした。

第2回 講義フィードバック詳細

テーマ：世界で成長するDX企業のイノベーション

SESSION 02

4.71

/ 5.0 全体平均満足度

開催日

2025年12月19日

講師

竹中 平蔵 氏

慶應義塾大学名誉教授、当社会長

多岐にわたる内容のご講演で、特にAIの進化によって残る人間の価値とは何かというお話は、グループでも議論になり印象に残りました。個人的にこれまでは人間が作ったプロセスにAIを当てはめるとどう変わるかといった視点が仕事でも多かったように思いますが、今後はAIを基点にして人間が作ったプロセス、ビジネス、収益構造なども含めてあらゆることを根本から変える思考がイノベーションには欠かせないと思っており、今後も最後の問いにあったような「AIが社会のメカニズムをどのように変え、その時にどのようなイノベーションが生まれるのか」を考え続けながら行動したいと思いました。

藤田先生のイスラエルとイノベーションのご講義は大変興味深かった。竹中先生のご講演は大変刺激的なものだった。次は、個別事象を超えて、日本でイノベーションが起こりにくい構造的要因に係る深掘りをお伺いしたい。

第3回 講義フィードバック詳細

テーマ：リクルートの経営

SESSION 03

4.96

/ 5.0 全体平均満足度

開催日

2026年1月29日

講師

峰岸 真澄 氏

(株)リクルートホールディングス 代表取締役
会長 兼 取締役会議長

日本を代表する企業経営者の方から貴重なお話をいただき、大変感謝しております。経営者として、自社の存続ではなく対峙する産業の変革を意識するという視座の高さに感銘を受けました。また、これまでの成長の背景には自社の強みや市場特性の探求、事業の選択と集中、勝ち筋の見極め方など経営者としての判断、意思決定において多くの気づきをいただきました。加えて最後にいただいたメッセージ、今、自分の置かれている立場で、目の前にある組織で動けなければ、立場が変わっても動けないという言葉をお忘れずに、リーダーを担うという意識で行動変容していきたいと思っております。

事業戦略と人事戦略、どちらも興味深い話でしたし、そのどちらにも共通してアジェンダをどう設定するか、という共通の問いがあることが非常に分かりやすかった。最後のメッセージも、心を動かされた。

まずは自分の組織、目の前の課題に対してしっかりと規律をもって取り組むべきことの重要性を痛感いたしました。

第4回 講義フィードバック詳細

テーマ：DX戦略による企業価値創造戦略

SESSION 04

4.83

/ 5.0 全体平均満足度

開催日

2026年2月4日

講師

森田 隆之 氏

日本電気(株) (NEC) 取締役 代表執行役社長
兼 CEO

圧倒的。データドリブン、AIドリブンの先を見てもらっしやる。本質を見てもらっしやる。現在の会社の在り方を考えさせられた。

嘘はつかない、にげない、いやな仕事はリーダーがとる、自分の心がけていることと重なっておりまちがっていないと認識できた。ブレずに明日からも進んでいきたい。あとダッシュボードはすごいと思った。うちはまだまだ非常にアナログ。

システム導入プロジェクトをリーダーとして推進中であり、改革案の洗い出しから、ポリシー制定、啓蒙、実行と非常に多岐にわたる中で、何のためにどこに向かうのあの初心の大切さを改めて感じました。

第5回 講義フィードバック詳細

テーマ：生成AIで変わる世界の企業経営

SESSION 05

4.73

/ 5.0 全体平均満足度

開催日

2026年3月10日

講師

佐々木 裕 氏

(株)NTTデータグループ 代表取締役社長

海外人材の活用、日本企業への評価、リアリティのあるお話でした。最後のメッセージで、世の中に向けたチャレンジについて、心を動かされました。有難うございました。

AI時代ではビジネスの構造、発想から変える必要があること（当社の場合は闇雲にヘッドカウント、売上を伸ばす成長ではなく、限られたリソースの中で利益＝お客さんへの提供価値を最大化すること）、そのためには改めて自身の所属する組織のような中長期目線での戦略・投資等に目を向ける本社から、現状単年度の数値管理や目先のビジネスに集中する現場までしっかりと浸透できるような、新しいビジネスの再定義や意思決定の評価軸の再整理等の仕組みづくりを担う重要性も感じました。またAIで競争力を強化する方法について、これまでM&Aでの成長も大きかった当社にとって、AI専門の新会社の設立がどのようなインパクトをもたらすのか、他社の事例とも比較しながら今後深掘りしたいと思います。

第6回 講義フィードバック詳細

テーマ：グループ発表（イノベーションを創造する組織とは）

SESSION 06

4.81

/ 5.0 全体平均満足度

開催日

2026年4月14日

講師

酒井田 浩之 氏

当社副社長執行役員

チームワークは有意義でした。ありがとうございました

他グループからの質疑は大変ありがたが、講師からの講評も有って良かったと感じた。

丸山さんの「リーダーは言葉で人を動かす」という話が心に響きました。後半のリーダーシップ研修で意識して取り組みたいと思いました。

第7回 講義フィードバック詳細

テーマ：経営の視点からの「CFO思考」

SESSION 07

4.77

/ 5.0 全体平均満足度

開催日

2026年5月29日

講師

徳成 旨亮 氏

ニコン会長、元三菱UFJフィナンシャルグループCFO

日本企業の9割は自分たちがグローバル投資家から見れば「小規模」であり、投資対象になりにくいことを認識する必要あり、という言葉は、改めて自分の立ち位置を認識する上でも明確になり、また危機感を覚える良い機会となりました。徳成さんの仰る通りアニマルスピリッツを持って業務に臨む必要性を再認識しました。ご講義ありがとうございました。

非常に視座が高く、日々の業務では意識できていない角度から考えるきっかけになりました。

IRの戦略上、成長ストーリー、資本効率、ガバナンスなど他社にない強みをいかにアピールするかが重要と言った話が印象的でした。

第8回 講義フィードバック詳細

テーマ：世界で成功する経営者のリーダーシップ

SESSION 08

4.82

/ 5.0 全体平均満足度

開催日

2026年6月8日

講師

竹中 平蔵 氏

慶應義塾大学名誉教授、当社会長

貴重なご講演ありがとうございました。企業のDNAを大切に得意分野で勝負すること、ただし、DNAを大切にしつつも時代の潮流を捉えて変化し続けることも重要であると学びました。私自身、組織の中期経営計画策定に携わってきましたが、その際も不易流行、組織にとって守るべきものと変えるべきものは何かを考えておりました。変化の激しい昨今において、自身、組織としても変化し、成長し続ける存在でありたいと実感しました。

藤田先生による日本企業の成長戦略といったテーマから、地域のキーワードを含めた議論を展開でき、非常に刺激的な内容になりました。竹中先生との意見交換を含めて、今まで以上に議論の内容が充実していた研修だと感じています。

日本とグローバルの違いを、組織という観点だけでなく、国や文化、教育の違いの観点から講義いただき、視座を高く持つ重要性を感じた。

第9回 講義フィードバック詳細

テーマ：世界でプレーして経験したリーダーシップの重要性

SESSION 09

4.84

/ 5.0 全体平均満足度

開催日

2026年7月1日

講師

五郎丸 歩 氏

元ラグビー日本代表

ビジネスパーソンだけでなく、スポーツ界の角度からもリーダーシップを学べたことは非常に視野が広がった

日本ラグビー界を現在の位置まで導いた五郎丸氏のリーダーとしての在り方はもちろん、その素晴らしい人間性に感銘を受けました。リーダーとしてブレない軸、強い組織を作るための基準の設定、多様性を活かしつつ一体感を醸成するための規律、そして一人ひとりのリーダーシップ発揮など参考になるお話ばかりでした。ビジネス界に通ずることも多く、これからの組織マネジメントにも活かしていきたいと思います。

2015年ラグビーW杯を起点とした様々なご経験に基づく、リーダーシップの在り方を学べた。